

街の歴史を紐解く、地域密着型企画展の第四弾は、大分県別府市！！

ゼンリン
「別府とマップと善隣と」

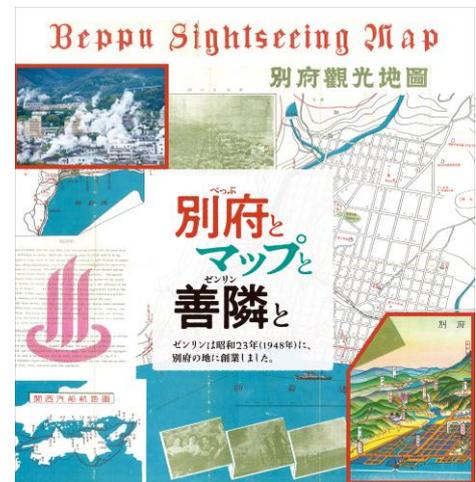
会期: 2024年5月18日(土)～2024年9月23日(月)

ゼンリンミュージアム(福岡県北九州市、館長:佐藤渉)は、2024年5月18日(土)～9月23日(月)まで、街の歴史を紐解く地域密着型企画展の第四弾として、ゼンリンの創業の地であり、日本有数の温泉観光都市として知られる別府の歴史を深掘りする企画展「別府とマップと善隣と」を開催します。

■展示概要

ゼンリンは昭和23年(1948年)に、大分県別府市で創業し、観光小冊子「年刊別府」を発行したことが地図づくりのきっかけとなります。ゼンリンが別府市で創業した理由の一つに、日本有数の観光都市であることが挙げられます。明治の中頃までは、近隣の人々の利用に限られていた温泉地でしたが、交通網の発達や積極的な宣伝活動によって日本屈指の観光都市となります。

その別府市は今年、市制施行100周年を迎えました。本企画展では、観光都市別府の歴史と魅力を、約30点の地図や資料から紐解きます。



■本企画展の見どころ

古くから温泉地として知られている別府ですが、観光都市としての幕開けは明治初頭から始まる別府港の築港でした。その後、交通網の整備も進み、「別府観光の父」とも称される油屋熊八の宣伝活動によって、別府の名は全国で知られるようになります。そして戦後、多くの引揚げ者・復員者を受け入れた別府は、復興とともに国際観光温泉文化都市としてさらなる発展を遂げます。本展示では、別府が地方の温泉地から国際的な観光都市へ成長する過程を、各年代の地図や資料を通してご覧いただけます。



▲「別府温泉名勝案内」
永松彦商店 大正14年(1925年)
ゼンリンミュージアム 所蔵

明治後半から大正にかけて整備された、別府市内の交通網の充実の様子がわかります。



▲「別府観光地図」
九州凸版印刷株式会社 昭和24年(1949年)
ゼンリンミュージアム 所蔵

戦後、外国人観光客向けに英語の説明文を記載した地図も作られました。

■企画展タイトルに込めた思い

ゼンリンの創業の地でもある「別府」の知られざる歴史と地図の関係性を象徴して「別府とマップと善隣^{ゼンリン}と」を企画展のメインタイトルとしました。

■企画展開催中の取り組み

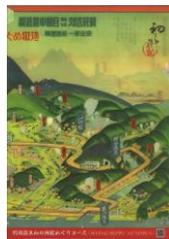
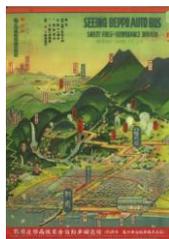
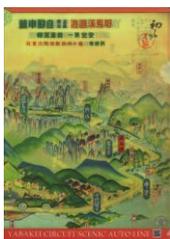
<期間限定デザインのチケットホルダーの配布>

有料入館者全員に期間限定デザインのチケットホルダーを配布します。「観光ガイドを手に別府を訪れる高揚感」をコンセプトに、昭和24年に発行された「別府観光案内図」の表紙と地図面をデザインモチーフとしました。



<クリアファイルの販売>

ゼンリンミュージアム内にある休憩スペース「Ligare(リガーレ)」にて、平野資料館[※]オリジナルの別府温泉の鳥瞰図をあしらった2種類のクリアファイルを販売します。



▲「別府を含む広域を描いた鳥瞰図」
定価 550 円(税込)

▲「別府市内を中心に描いた鳥瞰図」
定価 550 円(税込)

※平野資料館…1998年に大分県別府市で開館した個人経営の博物館。大正～昭和の観光ポスターをはじめとする、別府に関連する資料(約5千点)を所蔵。本企画展にも協力いただいています。

■地域密着型企画展とは

ゼンリンミュージアムでは、地図の新たな魅力に触れる機会を作ることを目的に、さまざまな企画展を開催しています。地域密着型企画展は、地図を通して街の歴史を紐解くことで、その街に興味・関心を持つきっかけづくりとなることを目指した企画展です。本企画展は、第一弾「地図に描かれたCocuraと北九州」(2021年1月～5月)、第二弾「福多か博愛の街 福岡・博多」(2022年9月～12月)、第三弾「くきのうみ ～近代産業の中心地 若松・八幡・戸畑～」(2023年5月～9月)に続く、第四弾となります。

■企画展開催概要

会期	2024年5月18日(土)～9月23日(月)
場所	ゼンリンミュージアム 多目的展示室

■学芸員による企画展ガイドツアー[※]

日時	会期中の平日(休館日を除く)14:00～14:30
参加費	無料

※ガイドツアーの事前予約は不要です。参加人数により、少人数のグループに分けて複数回実施します。

<参考資料>

■「ゼンリンミュージアム」について

(公式HP: <https://www.zenrin.co.jp/museum/>)



北九州市に本社を置く地図会社のゼンリンが手がける展示施設で、2020年6月に「地図文化の継承と振興」を目的に開館しました。常設展では、「歴史を映し出す地図の紹介」をコンセプトに、西洋製・日本製の日本地図を中心とした約120点の地図や資料を展示。それぞれの地図が作られた時代背景や作り手の思いとともに、地図の新たな魅力を発信しています。

【第1章】世界の中の日本

16世紀～19世紀に描かれた地図を中心に、キリスト教の布教による地図の進化と、鎖国体制が地図に与えた影響を紹介

【第2章】伊能図の出現と近代日本

多くの苦難を乗り越え、初の実測図として作られた伊能図が海外へ渡り、その後の日本に与えた影響を紹介

【第3章】名所図会・観光案内図・鳥瞰図の世界

正確さのもとに成り立つ、近代から現代にかけての様々な表現の地図を紹介



▲第1章 世界の中の日本



▲第2章 伊能図の出現と近代日本

開館時間	10:00～17:00(最終入館16:30)
休館日	月曜日(ただし祝日の場合は翌平日) ※この他、年末年始等、臨時に休館することがございます。
入館料	一般1,000円(800円) ※通常の入館料で企画展もご覧いただけます。 ※保護者同伴の小学生以下は無料です。 ※かつこ内は8名以上の団体および障がい者とその同伴の方1名の料金です。 団体料金は前日までに予約いただいた場合にのみ適用します。 ※入館料には、パンフレットおよびチケットホルダーの代金を含みます。